

情報連携推進本部は、平成18年4月1日に運営支援組織として発足し、名古屋大学の情報戦略の企画立案、情報インフラの整備、情報セキュリティ対策、更には文部科学省の共同利用・共同研究拠点として国内トップクラスのスーパーコンピュータの使用環境を提供すると共に、教育研究を支援するための各種の情報化支援サービスを実施しています。

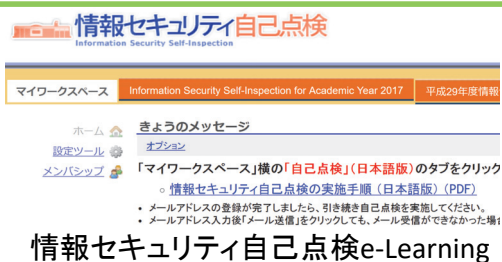
情報環境マスタープランの策定

名古屋大学における中長期にわたる情報環境整備における指針を示す情報環境マスタープランを、情報戦略室が中心となって策定しています。このマスタープランに基づいた様々な施策が実施され、新しい情報サービスが次々と誕生しています。



情報セキュリティの高度化と啓発活動

教育研究において、情報セキュリティの確保はますます重要となっております。情報セキュリティ室が中心となって、情報セキュリティポリシーおよびガイドラインを定めるとともに、情報セキュリティ研修および自己点検などの学習環境の整備も含めた啓発活動、情報セキュリティインシデントへの対応などの活動を行っています。

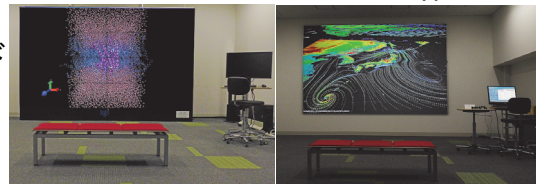


大規模コンピューティングサービス (HPC)

全国の大学等の広範囲にわたる学術研究、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点の共同研究活動、HPCIを活用した萌芽的研究から大規模研究まで、さらに産業利用にわたる幅広いHPC計算利用を加速するサービスです。



スパコン「不老」サブシステム Type I~III



可視化システム室(左: 8K、右: 3D)

- ・「富岳」型計算システムのFX1000を含む、多様な大規模計算環境
- ・30PBのホットストレージと研究データアーカイブ用の6PBのコールドストレージ(世界初)からなる大規模ストレージ
- ・SINETを介した高バンド幅、低遅延のインターネット接続
- ・幅広い研究分野に対応する様々なアプリケーションソフト
- ・8K高精細モニタや遠隔可視化機能を有する可視化システム

教育学習支援システム (NUCT)

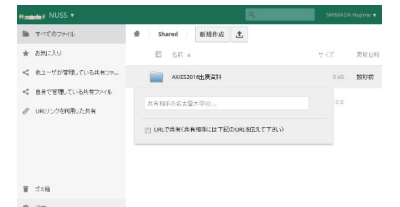
NUCT(Nagoya University Collaboration and course Tools)は、学習管理システム(LMS)ベースの、e-Learningシステムであり、授業ホームページを運用するためのWebアプリケーションです。教員は、NUCTに教材や資料をアップロードしたり、テストの作成をしたり、スキャンした紙レポートを管理したり、様々なツールを使ってネット上の授業を開講し、実施することが可能です。学生は、いつでもどこからでも授業のワークサイトにログインして、教材を閲覧したり、テストを受けたり、課題を提出したりすることができます。



NUCTによる講義関連情報の管理

教育研究ファイルサービスシステム (NUSS/NSSS)

NUSS(Nagoya University Storage Service)は、名古屋大学に所属する教職員のデータの保管・管理に関する利便性向上と教職員間での円滑なデータ共有の支援を目的として提供するファイル共有サービスです。名古屋大学IDを指定してのファイルやフォルダの共有、URLによるファイル公開などが可能です。認証と暗号化を強化して、機密レベルの高い文書に対応したNSSSもあります。



NUSSによるデータ共有